第6次環境ボランタリープラン【2017～2020 年度】 環境マネジメント

領域	項目			2020年度までの目標・取り組み	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標・取り組み
調達	グリーン調達活動		◆国内・海外お取引先様に対し、環境マネジメントシステム（EMS）の構築・維持・強化を要請	◇新規お取引先様を含めてEMS 構築・維持継続	新規お取引先様を含め構築体制を維持継続する	新規お取引先様を含めEMS構築体制を維持継続した	新規お取引先様を含めEMS構築体制を維持継続する
				◇サプライチェーン全体に対して、製品ライフサイクル全体を通した環境マネジメント強化を要請	必要に応じガイドラインを改訂発行しお取引先様に展開、周知する	今年度は変更点が無かったためグリーン調達ガイドラインの改訂は行わなかった	関係部署に確認し、変更点があればガイドラインに織り込み改訂発行する
			◆環境負荷物質の削減	◇お取引先様における、部品・原材料などに含まれる環境負荷物質の管理拡充と削減を推進	環境負荷物質の含有調査を継続し、代替材への切り替えによる環境負荷物質の削減を進める	欧州REACHフタル酸規制に対するお取引先様調査を実施した	環境負荷物質の含有調査を継続し、世界各国の規制動向に対応する為代替材への切替を進める
			◆サプライヤーＣＳＲガイドラインおよびグリーン調達ガイドラインの運用	◇ガイドラインを社会環境やＳＵＢＡＲＵ方針の変化に応じて改訂し、お取引先様を対象に展開・周知・遵守要請を推進	必要に応じガイドラインを改訂発行しお取引先様に展開し周知する	CSRガイドラインを改訂発行しお取引先様に展開し周知した	社会情勢を鑑みて必要に応じガイドラインを改訂発行しお取引先様に展開、周知する
物流・販売	販売特約店における環境保全活動の推進	自動車	◆販売特約店の環境への取り組み活動に対する支援実施	◇エコアクション21の全販売特約店認証維持を支援 ◇エコアクション21 を活用した省エネ、廃棄物削減など自主的な環境取り組み継続を支援	「EA21 2017 年版ガイドラインへの移行審査」を各販売特約店が確実に受審できるよう、個社教育などの支援を行っていく	・国内販売特約店EA21については、2017年度版ガイドラインの移行審査に向けて、コンサルタントと共に各販売特約店を訪問し、情報展開や意見交換を行う等の支援を行った ・今期移行審査を行った販売特約店に関し、全44社中、43社が認証を継続。残1社については、コロナ影響で中間審査が免除となった	・国内販売特約店EA21について、継続審査が2020年度になる販売特約店が発生した場合、認証継続に向けた支援の継続 ・国内販売特約店における環境リスクの低減と環境に配慮した経営推進の支援

第6次環境ボランタリープラン【2017～2020 年度】 環境マネジメント

領域	項目		2020年度までの目標・取り組み	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標・取り組み
管理	地域社会と連携した、生物多様性を含む環境保全活動の推進	◆環境イベントへの参画、工場近隣にお住まいの方との交流、工場見学への対応を継続 ◆生物多様性保全を含めた各工場周辺地域の清掃活動や緑化活動を継続的に実施 ◆環境団体などの活動に、支援・協力を行う	◇工場見学受け入れ、敷地開放イベントの開催、環境交流授業を実施 ◇各工場・事業所周辺地域の清掃活動を継続的に実施 ◇生物多様性に配慮した緑化活動を推進	・環境出前教室および群馬ビジターセンターの見学者受け入れを継続する ・地域清掃活動の継続実施する ・SUBARUと地域的な関わりが深い、群馬、宇都宮、美深での森林保全活動の具体的実行を継続する	・環境出前教育（33回実施）、見学者の受け入れ ・清掃活動を各事業所にて継続実施した ・美深での人工造林・植樹祭・保育間伐・選木調査・Jクレジット認証を実施 ・宇都宮での間伐材使用の公共アイテム作成	・環境出前教育、見学者受け入れを継続 ・地域清掃活動の継続実施 ・SUBARUと関わりの深い地域で、森林保全に貢献する
	環境関連情報の公開	◆環境報告の継続的発行、広報資料などによる環境情報の適時公開を図る	◇環境報告を実施 WEBホームページでは、最新情報を提供	・CSR レポート2019は8月の公開を目指す。引き続き、プレスリリース等での適宜適切な情報公開を実施していく	・CSRレポート2019を2019年8月に公開した ・気候変動に関する2030／2050年目標をはじめ、複数のプレスリリースを発信した ・2020年3月期に係る有価証券報告書【事業等のリスク】に、気候変動を記載した	・タイムリーなCSRレポートでの公開を引き続き実施していく ・様々なコンテンツを有効活用し、適宜適切な情報発信を推進する
		◆環境報告書記載内容の改善・充実を図る（「環境報告ガイドライン」への準拠対応、グループ企業も含めた報告）	◇環境報告内容の環境省「環境報告ガイドライン」準拠率向上と、報告内容の向上を目指す	「GRI スタンダード」と「環境報告ガイドライン」を参考とし、「環境報告ガイドライン」は2012年版から2018年版への移行を進める	「GRIスタンダード」と「環境報告ガイドライン」を参考に、環境の取り組みに関する開示を推進した	より分かり易い開示の検討を推進
		◆環境展などに参画し、SUBARUの環境取り組みをアピール	◇エコプロ展などに積極的に参加し、SUBARUの環境への取り組みを広くにアピール	SUBARUの環境への取り組みをより広く理解いただける方法を検討し、その実行へ移す	社会貢献活動等を通じて、SUBARUの環境取り組みのPRを行った	引き続き多くの方にSUBARUの環境取り組みをご理解いただけるPRを適宜実施する
	環境教育や啓発活動の推進	◆社内教育システムに組み入れた環境・社会教育を継続実施	◇環境に関する教育・啓発・発表会などの実施をさらに推進	・e-learning実施により、さらなるレベルアップを目指す ・廃掃法の理解度向上に向けた取り組みを行う	・環境教育テキストを更新し、7月にe-learning（間接）、勉強会（直接）を実施 ・SUBARUグループ企業を含め、9月廃掃法教育を実務担当者向けに実施	・e-learning実施により、さらなるレベルアップを目指す ・廃掃法の理解度向上に向けた取り組みを実施
	環境マネジメントシステムの構築	◆SUBARU全拠点ISO14001 統合認証を継続維持 ◆環境マネジメントシステムの継続的改善を推進 ◆関連企業・サプライヤーとの連携の強化、連結環境マネジメント体制の構築を維持・強化	◇内部監査や環境教育など仕組みの共有化を進め、より合理的なEMS 活動を目指す ◇関連企業3 社（スバルロジスティクス、桐生、富士機械）を含めたISO14001 統合認証化を推進し、さらなるレベルアップを目指す ◇EA21 バリューチェーンを関連企業、サプライヤーに展開	認証資格の維持継続 展開方法を見直し、説明会の開催等で参加への理解を深める	・グループ企業も含めた、一体教育を実施 ・ISO14001のグループ認証の継続 ・EA21取得企業への継続認証、支援実施（1月）	適切な環境マネジメントシステムの整備・運用を推進する

※ 環境省が策定した中小企報業向けの環境保全活動推進プログラム。ガイドラインに基づいて、環境経営システム、環境への取り組み、環境報告の3つの要素に取り組む環境マネジメントシステム